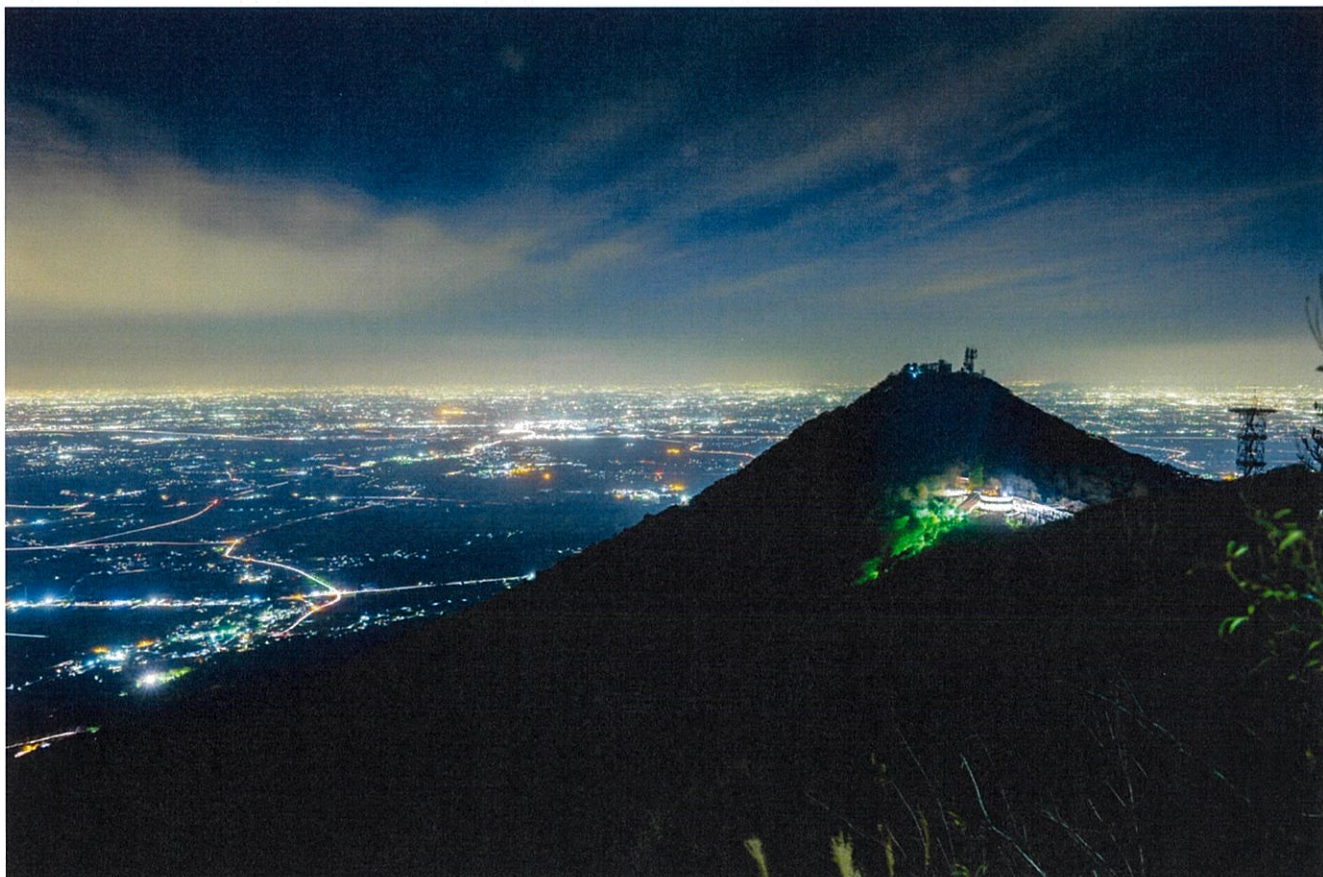


環境経営レポート

2024年度

(2023年12月01日～2024年11月30日)



筑波山から望む関東平野の夜景

東京トランス株式会社

作成日：2025年3月1日

目次

項目	内容	頁
	環境方針「基本理念、行動方針」	1
1	組織の概要・役割権限表	2
2	登録事業所、事業規模	3
3	主な環境負荷の実績値	3-4
4	本年度(2024年度)活動計画	5
5	環境活動目標と結果	6-7
	5-1; 活動実績と評価	
	5-2; PRTR法、報告量	
	5-3; 取組みの結果と評価	
6	エネルギーの推移	8
	6-1; 化石燃料の消費量 (2022~2024年)	
	6-2; CO ₂ 「二酸化炭素排出量」トン (2022~2024年)	
	6-3; 2023年度「種類別、支出金額」	
7	次年度(2025年度)活動目標と達成手段	9
8	次年度(2025年度)活動計画	10
9	環境関連法規等の対応内容	11
	9-1; 環境関連法規等の遵守状況	
1)	代表者による全体評価と見直しの結果	11
	10-1; 全体評価	
	10-2; 見直し結果	

環境経営方針

〈基本理念〉

東京トランス株式会社は地球環境の保全を最重要課題として掲げ、企業活動のあらゆる面において環境に優しい活動を推進いたします。

〈行動方針〉

当社は、変圧器の開発・製造・販売を通して、環境に対する影響を認識し構築した環境経営システムに基づいて環境保全活動に取り組み、継続的な改善向上を図る。

1. 関連する環境の法規制および当社が同意したその他要求事項を遵守します。
2. 環境経営システムおよび環境目的・目標を定期的に見直し、継続的に改善を図ります。
3. 環境経営方針は事業所内に掲示し、教育及び各種会議を通じ社員に理解を深めます。
4. 当社は次の項目を重点項目として定め、事業活動を通して環境汚染の予防に努めます。
 - (4-1) 二酸化炭素（電気エネルギー、化石燃料）の排出量を削減。
 - (4-2) 廃棄物の排出量を削減。
 - (4-3) 水の使用量削減。
 - (4-4) 化学物質の削減「適正在庫を強化」を推進。
 - (4-5) 不良品の「撲滅」及び不良率の低減。
 - (4-6) グリーン購入を推進。
 - (4-7) 環境目的に適合した設計・開発力を強化。
5. 環境経営方針は広く社外にも公表し、当社の環境活動に関する情報も必要に応じて公開いたします。

制定 2008年07月25日

改訂 2021年04月10日

東京トランス株式会社

代表取締役社長 水野 剛宏

2. 登録事業所、事業規模

(1) 事業者名及び代表者名

東京トランス株式会社
代表取締役社長 水野 剛宏

(2) 所在地(対象範囲)

本 社 : 〒110-0003 東京都台東区根岸3丁目18番16号 (登記上の本社・常駐なし)

越谷工場(第一、第三工場) : 〒343-0851 埼玉県越谷市七左町 4丁目8番

越谷工場(第二工場) : 〒343-0852 埼玉県越谷市新川町 1丁目461番-1 (現在は倉庫に使用中)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 水野 剛宏 TEL:048-988-7251 mail:tmizuno@tatora.co.jp
代表取締役社長 (営業技術部、部長兼任)

担 当 者 中村 仁 TEL:048-988-7251 mail:hitoshi_nakamura@tatora.co.jp

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

電源変圧器(トランス)の開発、設計、製造及び販売

(5) 事業の規模

事業年度(会計年度)12月~翌年11月

資本金 1,000 万円

製品出荷額 7.12 億円(12月~11月)

主要製品生産量 160トン (12月~11月)

名 称	本 社	越谷工場
従業員	0 名	34 名
1) 通期生産量	17.5 m ²	2192.4 m ²

3. 主な環境負荷の削減目標値

		単位	2015年	2016(2018)年	2023年目標	2024年目標	2025年目標
			旧基準年度実績	新基準年度実績			
エネルギー投入量 (CO ₂ 削減)	購入電力	kWh/年	210,169	206,962	194,544	192,474	192,474
		削減率 %		-1.5%	-6.0%	-7.0%	-7.0%
	ガソリン	ℓ/年	6,217.9	3,111.9	2,738.5	2,707.3	2,489.5
		削減率 %		-50.0%	-12.0%	-13.0%	-20.0%
	軽油	ℓ/年	7,660	11,861.5	10,912.6	10,794.0	10,438.0
		削減率 %		54.8%	-8.0%	-9.0%	-12.0%
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg/年	2,790	2,830.0	2,631.9	2,603.6	2,603.6
		削減率 %		1.4%	-7.0%	-8.0%	-8.0%
	コピー用紙	枚/年	57,000	53,000	49,290	48,760	48,760
		削減率 %		-7.0%	-7.0%	-8.0%	-8.0%
	産業廃棄物	kg/年	1,630	1,530.0	1,407.6	1,392.3	1,392.3
		削減率 %		-6.1%	-8.0%	-9.0%	-9.0%
水資源投入量	上水使用量	m ³ /年	277	285.00	269.3	267.9	267.9
		削減率 %		2.9%	-5.5%	-6.0%	-6.0%
グリーン購入	事務用品 (エコマーク、グリーン表示)	年	48	79.5	93.0	94.0	94.0
		推進率 %			12.5%	14.5%	13.5%
不良率低減	顧客クレーム	件/年	16	15	10.0	9.0	9.0
		削減率 %		-6.3%	-33.3%	-40.0%	-40.0%
化学物質の削減	有害化学物質 (第一種指定化学物質)	kg	2,411.5	2,146.0	2,017.2	2,017.2	2,017.2
		削減率 %		-11.0%	-6.0%	-6.0%	-6.0%

3. 主な環境負荷の削減目標値(原単位)

* 2025年度の目標値は、2016年度(ガソリン。軽油は2018年度)を基準年度として設定する。

項目		単位	2015年 旧基準年度実績	2016(2018)年 新基準年度実績	2023年目標	2024年目標	2025年目標
エネルギー投入量 (CO ₂ 削減)	購入電力	kWh/百万円	3,232.00	3,494.41	3,284.75	3,249.80	3,249.80
		削減率 %		8.1%	-6.0%	-7.0%	-7.0%
	ガソリン	ℓ/百万円	95.95	46.73	41.12	40.65	37.38
		削減率 %		-51.3%	-12.0%	-13.0%	-20.0%
	軽油	ℓ/百万円	116.55	171.40	157.69	155.97	150.83
		削減率 %		47.1%	-8.0%	-9.0%	-12.0%
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg/百万円	43.00	47.37	44.05	43.58	43.58
		削減率 %		10.2%	-7.0%	-8.0%	-8.0%
	コピー用紙	枚/百万円	886.91	882.39	820.62	811.79	811.79
		削減率 %		-0.5%	-7.0%	-8.0%	-8.0%
	産業廃棄物	kg/百万円	29.38	23.3	21.47	21.25	
		削減率 %		-20.6%	-8.0%	-9.0%	-100.0%
水資源投入量	上水使用量	m ³ /人	6.35	6.36	6.01	5.98	5.98
		削減率 %		0.2%	-5.5%	-6.0%	-6.0%
グリーン購入	事務用品 (エコマーク、グリーン表示)	年	48.00	79.5	93.0	94.0	94.0
		推進率 %			12.5%	14.5%	14.5%
不良率低減	顧客クレーム	件/百万円	0.369	0.334	0.278	0.253	0.253
		削減率 %		-9.5%	-16.8%	-24.3%	-24.3%
化学物質の削減	有害化学物質 (第一種指定化学物質)	kg/百万円	37.14	34.93	32.83	32.83	32.83
		削減率 %		-6.0%	-6.0%	-6.0%	-6.0%

廃棄物 : 「有価物を除く」

①一般廃棄物 ; 可燃ゴミ
; 廃プラ

内 容

→ * 梱包屑、紙屑、布、ビニール
→ * 固形プラスチック、絶縁ワニスかす、

その他 :

①グリーン調達 ; 2016年度、活動開始
* エコマーク、グリーンマーク
表示品を購入(推奨)

(購入実績、857%/100)

→

③不良率の低減 ; 2014年度、活動開始
(基準年2016年)

→ * 顧客クレーム(A,B,Cランク)を中心に運用する。
QCサークル活動とリンクする。 2016年から電子トランスは除く

④化学物質の削減 ; 2014年度、活動開始

→ * 余剰在庫を減らし、適正管理を行う。
重点は、第一種指定化学物質
同時にPRTR法を遵守し削減方向をめざす。

4. 本年度(2024年度)活動計画

名称	項目	活動計画
二酸化炭素 排出量の削減	電力消費量	・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。
		・休憩時間の消灯を徹底する。及び倉庫等の使用後も、消灯を確認する。
		・夏、冬(7~9月, 12~2月)ピーク電力管理を適用し、各部署毎に使用開始時間をずらす。
		・乾燥機の運転休止日を設定し、休止日を掲示する。
		・毎週火、水曜日をノー残業デーとする。
		・パソコンは稼働時間内であっても長時間使用しない場合は電源をオフにする。
化石燃料	ガソリン-使用量	・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。
		・エコカーを優先して使用。
		・効率が良い運行ルートの作成(情報交換)、アイドリングストップの実施
	軽油-使用量	・単独での長距離出張は電車利用(効率、及び交通の便は考慮)
		・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例エコラ21)
		・効率が良い運行ルートの作成(情報交換)、アイドリングストップの実施
廃棄物の削減	一般廃棄物	・運転休止日(ノーカーデー)を設定する。掲示する。
		・積載重量別に車種を選択し使用。また積載効率を意識した運用を心掛ける。
		・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例エコラ21)
	コピー用紙	・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。
		・分別の徹底(強化) *主にダンボール、金属、再利用可能品、有機物を選別。
		・収容ボックス(形状)を見直し(表示も同時に)整備を行う。
産業廃棄物	・出荷梱包用の緩衝材に良好な廃材の利用を推進する。輸入梱包の見直し。	
	・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例エコラ21)	
	・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。(廃出月)	
水使用量の削減	水使用量(排出量)	・回収月を1月、6月、10月で実施する、最終回収月は10月(但、変更する場合がある)。
		・有価物と廃棄物の分別を強化徹底する。廃プラ、及び金属(銅、鉄)
		・廃出月の量の記録、及びマニフェストの内容チェックと記載。
グリーン調達 の推進	コピー用紙	・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例エコラ21)
		・再生紙(エコマーク)品を指定購入。その他インターネット購入の推進。
		・裏紙の使用強化を継続。
化学物質の削減	有害化学物質 (第一種指定化学物質)	・部数(枚数)が多き仕様書の発行を軽減する(機種別に調査)。
		・開封時に枚数を記録用紙に記載。
		・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例エコラ21)
		・再生紙(エコマーク)品を指定購入。その他インターネット購入の推進。
不良率低減 (2014年追加)	顧客クレーム	・出入庫管理を強化。
		・適正在庫量にて管理、及び適正購入。
		・代替ワニスの検討を継続。
		・PRTR法遵守。(第一種指定化学物質)キシレン、エチルベンゼン、スチレン、トルエン
		・RoHS規制品の発注時、及び入荷品の確認。
不良率低減 (2014年追加)	顧客クレーム	・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例エコラ21)
		・記録は不具合記録採番台帳から抽出。
		・クレーム(A, B, Cランク)の重要度ランクでは区別しない。(全てを盛り込む)
		・不具合内容は各部署に水平展開を行う。
		・QC活動(不良撲滅運動)と連携する。
不良率低減 (2014年追加)	顧客クレーム	・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例エコラ21)
		・記録は不具合記録採番台帳から抽出。
		・クレーム(A, B, Cランク)の重要度ランクでは区別しない。(全てを盛り込む)
		・不具合内容は各部署に水平展開を行う。
		・QC活動(不良撲滅運動)と連携する。

5. 環境活動目標と結果

5-1：活動実績と評価 基準年度 2016年(但しガソリン、軽油は2018年)

<総量評価>

名称	項目	単位	基準年	2023年	2024年		評価	
			2016(2018)年	実績値	目標値	実績値		
二酸化炭素 排出量の削減	電力消費量	kWh	206,962.0	184,654.0	192,474.7	184,162.0	○	
	削減率		100 %	-10.8%	-7.0%	-11.0%		
	化石 燃料	灯油-使用量	ℓ	0.0	2014年度から休止			○
		削減率		100 %				
		ガソリン-使用量	ℓ	3,111.9	1,598.3	2,707.4	1,545.1	
		削減率		100 %	-48.6%	-13.0%	-50.3%	
廃棄物の削減	軽油-使用量	ℓ	11,861.5	8,092.7	10,794.0	7,181.3	○	
	削減率		100 %	-31.8%	-9.0%	-39.5%		
	一般廃棄物	kg	2,830.0	3,670.0	2,603.6	2,310.0	○	
	削減率		100 %	29.7%	-8.0%	-18.4%		
水使用量の削減	コピー用紙	%	53,000	40,500	48,760	42,000	○	
	削減率		100 %	-23.6%	-8.0%	-20.8%		
設計開発	産業廃棄物	kg	1,530.0	1,315.0	1,392.3	540.0	△	
	削減率		100 %	-14.1%	-9.0%	-64.7%		
グリーン購入	水使用量(排出量)	m ³	285.0	199.0	267.90	208.0	○	
	削減率		100 %	-30.2%	-6.0%	-27.0%		
不良率低減	製品重量(部材を含む)	kg	大型	2015年度から休止			○	
	削減率		100 %					
化学物質の削減	事務用品 (エコマーク、グリーン表示)	%	79.5	89.4%	94.0%	95.1%	○	
	削減率		100 %	9.9%	14.5%	16.6%		
不良率低減	適正管理の強化	kg	2,146	2,146.0	2,017.2	1,841.6	○	
	削減率		100 %	0.0%	-6.0%	-14.2%		
不良率低減	顧客クレーム	件	15	7	9	8	△	
	低減率		100%	-53.3%	-40.0%	-46.7%		

<原単位評価>

果、エアコン、照明	項目	単位	基準年	2023年	2024年		評価	
			2016(2018)年	実績値	目標値	実績値		
二酸化炭素 排出量の削減	電力消費量	kWh/百万円	3,494.41	2,704.19	3,249.80	3,176.72	○	
	削減率		100 %	-22.6%	-7.0%	-9.1%		
	化石 燃料	灯油-使用量	ℓ/百万円		2014年度から休止			○
		削減率						
		ガソリン-使用量	ℓ/百万円	46.73	23.36	40.66	26.16	
		削減率		100 %	-50.0%	-13.0%	-44.0%	
廃棄物の削減	軽油-使用量	ℓ/百万円	171.40	117.88	155.97	123.16	○	
	削減率		100 %	-31.2%	-9.0%	-28.1%		
	一般廃棄物	kg/百万円	47.37	53.43	43.58	38.91	○	
	削減率		100 %	12.8%	-8.0%	-17.9%		
水使用量の削減	コピー用紙	枚/百万円	882.39	593.00	812.00	713.00	○	
	削減率		100 %	-32.8%	-8.0%	-19.2%		
不良率低減	産業廃棄物	kg/百万円	23.34	20.65	21.24	7.25	△	
	削減率		100 %	-11.5%	-9.0%	-68.9%		
グリーン購入	水使用量(排出量)	m ³ /人	6.36	5.07	5.98	5.85	○	
	削減率		100 %	-20.3%	-6.0%	-8.0%		
化学物質の削減	事務用品 (エコマーク、グリーン表示)	%	79.5	89.4%	93.0%	95.1%	○	
	削減率		100 %	9.9%	14.5%	16.6%		
不良率低減	適正管理の強化	kg/百万円	34.93	33.67	32.84	32.35	○	
	削減率		100 %	-3.6%	-6.0%	-7.4%		
不良率低減	顧客クレーム	件/百万円	0.334	0.179	0.253	0.223	△	
	低減率		100%	-46.4%	-24.3%	-33.2%		

5. 環境活動目標と結果(つづき)

5-2 : PRTR法、報告量 : 2017年 2,040 kg * 報告(集計)期間 ; 2016/4~2017/3 (トルエン、スチレンは規定値以下)

二酸化炭素(CO2) 排出量

項目	単位	2023年排出量	2024年排出量	排出係数	単位発熱量
購入電力	kg-CO2	91,588.4	91,344.4	0.496 (kg-CO2/kWh)	
ガソリン	kg-CO2	3,710.7	3,587.2	0.0671 (kg-CO2/MJ)	34.6 (MJ/ℓ)
軽油	kg-CO2	20,837.0	18,517.0	0.0675 (kg-CO2/MJ)	38.2 (MJ/ℓ)

電力、排出係数 0.496 は東京電力(株) 二酸化炭素排出係数 H.29年 (H. 30.12公表)から引用。

5-3 : 取組みの結果と評価

2024年度は、売上が7.12億円と2023年度の8.39億円から約15.1%減少したため、総量評価、原単位評価とも減少傾向にあります。また人員も39名から34名に減少しております。

1) 二酸化炭素排出量の削減

- ①電力消費量 通年で総量評価で目標を約11.0%、原単位評価で9.1%下回った。昨年度に引き続きノ-残業デーを設定、6月からは残業は基本禁止を実施した効果が大きい。
- ②ガソリン使用量 通期で原単位評価で-44.0%、総量評価で-50.3%(対目標値)と大幅な下げ幅となる。
- ③軽油使用量 総量評価で-39.5%、原単位評価で-28.1%減となった。納品は輸送量に応じてガソリン車(バン)を併用。

2) 廃棄物の排出量の削減

- ①一般廃棄物 総量評価で18.4%、原単位評価で17.9%の減少となった。輸入貨物梱包方法の見直しを行い削減した効果が大きい。保管期限を過ぎた書類の処理も行った。
- ②コピー用紙 総量評価で20.8%、原単位評価で19.2%の大幅減となった。保管期限を過ぎた書類の裏紙転用の効果が大きい。ペーパーレス化の推進も、購入量を抑えることに寄与した。
- ③産業廃棄物 昨年度と比較して総量評価で64.7%、原単位評価で68.9%の減少となっているが、これは今年度の引き取23年12月の1回のみだったためである。24年11月30日にも引き取りあったが、こちらは2025年度で計上。

3) 水使用量(排水量)の削減

総量評価、原単位評価とも目標を達成。残業規制効果だが、人員減少も影響。

4) 化学物質の削減「適正管理を強化」

昨年度と同様第一種指定化学物質を主に対象とした。原単位評価で7.7%となったが、生産高の減少もあるが、適線必要量を把握し適正な量を購入していった結果といえる。

5) 不良率低減

目標9件に対し実績8件という結果になった。目標は達成されているが、この他にも得意先には行かない社内での不具合も発生しているので、一概に目標達成したとは言えない。

6) グリーン購入

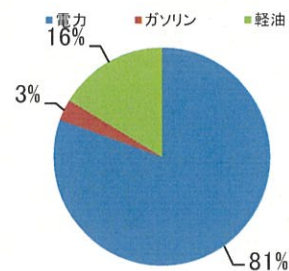
1、3、5月は購入高がゼロで、購入量そのものを絞り込んでいる。通期では95.1%を達成。

6. エネルギーの推移

6-1: エネルギー別消費量

活動年度	2021	2022	2023	2024	単位
電力	19,828	20,187	18,465	18,416	× 10kWh
ガソリン	1,880	2,276	1,598	1,545	ℓ
軽油	9,389	9,829	8,093	7,181	ℓ

2024年度消費比率

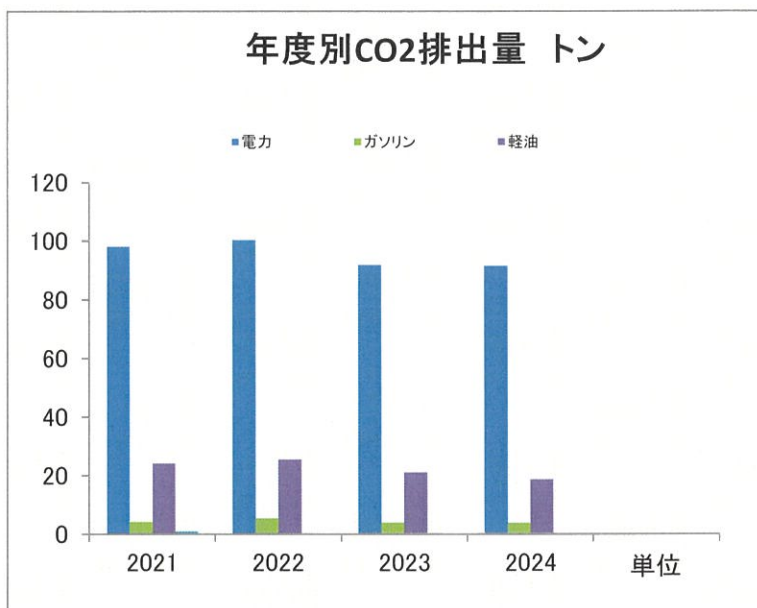


6-2: CO₂ (二酸化炭素排出量)トン

活動年度	2021	2022	2023	2024	単位
電力	98	100.12	91.59	91.34	t-CO ₂
ガソリン	4	5.28	3.71	3.59	t-CO ₂
軽油	24	25.34	20.87	18.51	t-CO ₂
合計	126	131	116	113.44	t-CO ₂

排出係数	単位発熱量
0.496 kg-CO ₂ /kWh	
0.0671 kg-CO ₂ /MJ	34.6 MJ/ℓ
0.0675 kg-CO ₂ /MJ	38.2 MJ/ℓ

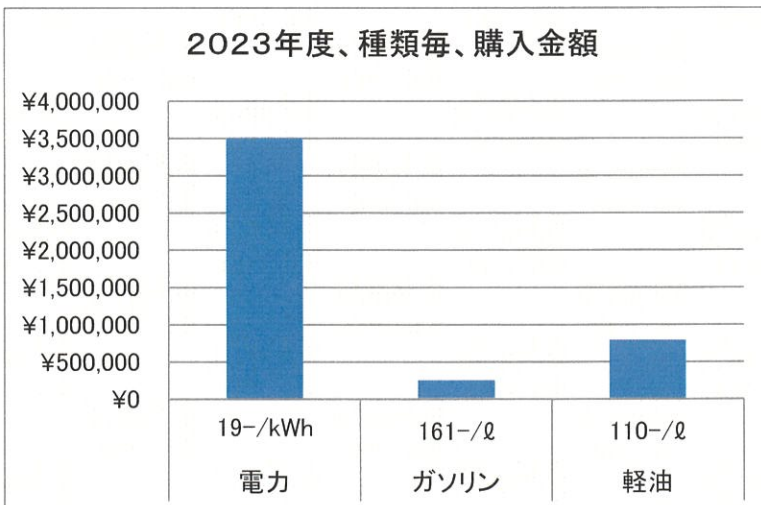
年度別CO₂排出量 トン



6-3: 2024年度「種類毎、購入金額」

活動年度	単価 (¥)	2024年度
電力	19-/kWh	3,499,078
ガソリン	161-/ℓ	248,761
軽油	110-/ℓ	789,943

2023年度、種類毎、購入金額



7. 次年度(2025年度)活動目標と達成手段

名称	項目	単位	基準値 基準年	2025年 目標値/削減率	達成手段	
二酸化炭素 排出量の削減	電力消費量	kWh/百万円	3,494	3,249.80	・休憩時間、消灯を徹底する。 ・夏、冬のピーク電力管理を適用。使用開始時間。 ・乾燥機の運転休止日を増やす。休止日の掲示。	
	削減率		2016年	-7.0%		
	参考(総量評価)	kWh	206,962	192,475		
	化石燃料	ガソリン-使用量	ℓ	3,111.9	2,489.52	・積極的にエコカー利用。
		削減率		2018年	-20.0%	・効率が良い、運行ルート利用と情報交換。
		参考(原単位)	ℓ/百万円	46.73	37.38	・アイドリングの禁止。
軽油-使用量		ℓ/百万円	171.40	150.83	・効率が良い、運行ルート利用と見直し。	
削減率		2018年	-12.0%	・納入日程を調整を行い、運転休止日(ノーカーデー)を設定。		
参考(総量評価)	ℓ	11,861.5	10,438	・積載重量別に車種を選択、常に満載を意識して。		
廃棄物の削減	一般廃棄物	kg/百万円	47.37	43.58	・分別の徹底(強化)。 ・廃棄物の再利用(梱包用)を強化する。 ・有価物の仕分けを改善する。	
	削減率		2016年	-8.0%		
	参考(総量評価)	kg	2,830	2,604		
	コピー用紙	枚/百万円	882	811.44	・裏紙の使用強化を継続。	
	削減率		2016年	-8.0%	・受注頻度が多い機種は、一括発行を行う。	
	参考(総量評価)	枚	53,000	48,760	・コピー保管から電子保管に移行。	
産業廃棄物	kg/百万円	23.34	21.24	・回収月を1月、6、10月で実施する。(但、参考)		
削減率		2016年	-9.0%	・有価物と廃棄物の分別を強化徹底する。		
参考(総量評価)	kg	1,530.0	1,392.3	---		
水使用量の削減	水使用量(排出量)	m ³ /人	6.36	5.98	・節水の呼びかけ。	
	削減率		2016年	-6.0%	・節水表示。	
	参考(総量評価)	m ³	285	267.9	・蛇口(コマ)定期点検、「閉後の状態」。	
グリーン購入 (推進)	エコマーク商品 (事務、業務用品)	%	79.5	94	・グリーンマーク購入手順書を作成。	
	推進率		2016年	14.5%	・エコマーク、グリーンマーク品リストを作成。	
					2017年度実績85%	
設計開発	--	--	--	2015年から 休止	-- --	
化学物質の削減	有害化学物質 (第一種指定化学物質)	kg/百万円	34.93	32.83	・入在庫管理を強化。(基準在庫量 1500kg/月) ・適正量(在庫)にて管理、及び適正量を購入。 ・PRTR法遵守。 ・代替ワニスの検討を継続。	
	削減率		2016年	-6.0%		
	参考(総量評価)	kg	2,146.0	1995.78		
不良率低減	顧客クレーム	件/百万円	0.334	0.253	・記録は不具合記録採番台帳を使用。	
	削減率		2016年	-6件	・客先クレーム(A, B, Cランク)全てを対象とする。	
					・QC活動と連携(リンク)する。	
	参考(総量評価)	件	15	10	・電子トランスは2016年から除外する。	

4. 次年度(2025年度)活動計画

名 称	項 目	活動計画		
二酸化炭素 排出量の削減	化石燃料	電力消費量	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。 ・休憩時間の消灯を徹底する。及び倉庫等の使用後も、消灯を確認する。 ・夏、冬(7~9月, 12~2月) ピーク電力管理を適用し、各部署毎に使用開始時間をずらす。 ・乾燥機の運転休止日を設定し、休止日を掲示する。 ・生産量(受注状況)に応じノー残業デーの設定、残業禁止などの調整をする。 ・パソコンは稼働時間内であっても長時間使用しない場合は電源をオフにする。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21) 	
		ガソリン-使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。 ・エコカーを優先して使用。 ・効率が良い運行ルートの作成(情報交換)、アイドリングストップの実施 ・単独での長距離出張は電車利用(効率、及び交通の便は考慮) ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(デジタコ導入) 	
			軽油-使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・効率が良い運行ルートの作成(情報交換)、アイドリングストップの実施 ・運転休止日(ノーカーデー)を設定する。 掲示する。 ・積載重量別に車種を選択し使用。また積載効率を意識した運用を心掛ける。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(デジタコ導入)
		廃棄物の削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。 ・分別の徹底(強化) *主にダンボール、金属、再利用可能品、有機物を選別。 ・収容ボックス(形状)を見直し(表示も同時に)整備を行う。 ・出荷梱包用の緩衝材に良好な廃材の利用を推進する。輸入梱包の見直し。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21)
			コピー用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙の使用強化を継続。 ・受注頻度が多い機種は、一括発行を行う。(社内、呼称名「5 部発行」) ・開封時に枚数を記録用紙に記載を継続。再生紙を購入(エコマーク品を指定) ・書類保管は許容される書類は(文書類)は電子保管に移行する。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21)
			産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を利用しての経過報告、及び協力を呼びかける。(廃出月) ・回収月を1月、6月、10月で実施する、最終回収月は10月(但、変更する場合がある)。 ・有価物と廃棄物の分別を強化徹底する。 廃プラ、及び金属(銅、鉄) ・廃出月の量の記録、及びマニフェストの内容チェックと記載。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21)
水使用量の削減	水使用量(排出量)	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水の定期点検。 ・蛇口(コマ)点検、「閉後の状態」。 ・節水協力に対してのお願い。(掲示) ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21) 		
グリーン調達 の推進	コピー用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙の使用強化を継続。 ・部数(枚数)が多き仕様書の発行を軽減する(機種別に調査)。 ・開封時に枚数を記録用紙に記載。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21) ・再生紙(エコマーク)品を指定購入。その他インターネット購入の推進。 		
化学物質の削減	有害化学物質 (第一種指定化学 物質)	<ul style="list-style-type: none"> ・入在庫管理を強化。 ・適正在庫量にて管理、及び実際の使用量を把握した適正購入。 ・代替ワニスの検討を継続。 ・PRTR法遵守。(第一種指定化学物質) キシレン、エチルベンゼン、スチレン、トルエン ・RoHS規制品の発注時、及び入荷品の確認。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21) 		
不良率低減 (2014年追加)	顧客クレーム	<ul style="list-style-type: none"> ・記録は不具合記録採番台帳から抽出。 ・クレーム(A, B, Cランク)の重要度ランクでは区別しない。(全てを盛り込む) ・不具合内容は各部署に水平展開を行う。 ・QC活動(不良撲滅運動)と連携する。 ・月次使用量を記録、及び累積使用量の報告。(定例Eコト21) 		

9. 環境関連法規等の対応内容

環境関連法規	要求内容	評価	実施状況、及び確認項目
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	○	・委託契約＋マニフェスト管理＋定期報告 ・廃棄物委託契約、及び廃棄物許可証の確認
PRTR法 化学物質管理促進法	第一種指定化学物質	○	・埼玉県(越谷市)への報告(年1回、6月迄、届け出) ・国(経済産業省)への報告(年1回、6月迄、届け出)
悪臭防止法	指定物質での悪臭規制	○	・埼玉県生活環境保全条例(地域にて規制条件がある)
騒音・振動規制法	指定機械(設備)での規制	○	・越谷市役所、環境経済部、環境政策課への届出所は提出済み
毒物劇物取締法	盗難防止、劇物表示	○	・購入量と保管量を記録 ・鍵の係る倉庫に保管
消防法	危険物貯蔵施設の維持管理	○	・消火器の場所、使用期限の管理
浄化槽法	浄化槽の定期点検	○	・検査結果の記録、保管
埼玉県 生活環境保全条例	アイドリングの禁止 水質、大気汚染、他	○	・アイドリングの禁止 ・第1条～第135条迄を抜粋適用
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機	○	・適切な処理 ・2024年度は廃棄はありません
自動車リサイクル法	普通自動車、トラック	○	・廃車引き渡し処理 リサイクル料金の貯託 ・リサイクル料金の貯託(リサイクル券) ・2024年度は廃車はありません(2023年度予定あり)。
RoHS指令対応	指定物質の閾値での管理	○	・RoHS対応品の購入 ・非含有保証書の発行

9-1: 環境管理法規等の遵守状況をチェックした結果、過去3年間、環境管理法規の逸脱はなく関係機関からの指摘、及び近隣からの苦情もありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

10-1: 全体の評価

- 1) 通期生産量は前年度より約20%減、受注量は減少してる傾向にあります。
- 2) CO₂ 排出量の削減:
 - a. 電力に関しては「省エネタイプエアコン」への切り換えは完了、照明もLEDに変更しております。エアコン稼働についてはチェックリストによる管理を実施、制限を設けている場所もあります。生産減に伴い残業規制も徹底した結果、エアコン、照明の稼働率が減少、電力使用量も減少しました。
 - b. ガソリンに関しては、昨年度ガソリン車を2台廃車しており、代わりにEV車を1台した結果、大幅に使用量が減少しました。なお貨物量を考慮して適線納品時にガソリン車(バン)を使用しております。
 - c. 軽油は貨物量に応じて適線ガソリン車(バン)を使用しているため、全体で消費量が減少しております。総量評価では39.5%減、原単位評価では28.1%減となっております。
- 3) 廃棄物の削減:
 - a. 一般廃棄物は、輸入品の梱包方法見直しをした結果、総量で18.4%減を達成することが出来ました。
 - b. 産業廃棄物は、今年度内の引取は1回しかなかったため、基準年度を大幅に下回っております。
 - c. コピー用紙は保管期間経過後の書類整理、裏紙転用を継続して実施、新規購入量が大幅に減少しました。
- 4) 水使用量の削減:

総量、原単位ともに昨年度より減少、節水活動の効果もありますが、残業規制の強化、人員減少が要因と考えられます。現状に見合った使用量を意識した節水の喚起を引き続き行うようにします。
- 5) グリーン購入:

比率95.1%を達成、全体的に購入量も調整、減少しております。
- 6) 設計開発(部材重量比の削減):

2015年より、当面は休止としました。
- 7) 化学物質の削減:

在庫を管理し、必要量に応じた適正な購入を行った結果、総量評価では対目標値14.5%減となりました。
- 8) 不良率の低減:

得意先不具合が目標9件に対し結果8件となっており、一見目標達成したように見えますが、社内不具合も多数あり、たまたま得意先へ行く前に解決出来たという案件もかなりあると思います。

10-2: 見直しの結果

- 1) 昨年度に続き、多角的に管理するため、総量評価、原単位評価における管理は継続致します。
- 2) 産業廃棄物の引取は、今年度1度しかされていません、定期的な引取等計画的な管理をお願いします。